

長く続く交流事業

5/19~20

今年も海の子山の子交流教室が実施されました

今年で19回目となる焼津市との交流事業が実施されました。

本町と焼津市から合計33人の児童が参加し、奥泉発電所の見学、南アルプスあぶとラインの乗車、草木染め、闘茶会、大札山のハイキングといった体験学習を行いました。

今回参加した焼津市の 杉山賢太郎さん(6年生)は「今回の体験教室をとおして、川根本町は温泉だけではないことを知った。これからも川根のいろいろなイベントを体験していきたい」と感想を述べました。



▲草木染めで作ったオリジナルのバンダナ

まっすぐなが〜く育つかな？

5/14

中央小学校3年生が自然薯栽培体験

中央小学校の3年生7人が、上長尾地内にある山下信郎(高郷)さんの畑で自然薯の植え付けを行いました。

総合学習の一環として町内で栽培されているお茶以外の農作物について学習するもので、植え付けから栽培と成長の過程を毎月観察しながら収穫まで行い、11月にはその結果を発表するとのことです。

児童たちは、合計66本の種芋の植え付け、施肥などの体験を行った後、耕運機による作業を見学しました。



▲山下さんに教えてもらい種芋に土をかけていく児童

5/25

ちゃんと大きく育てね

本川根小学校の児童がアマゴの放流活動を実施しました



▲容器からアマゴを放流する児童

八木キャンプ場にて本川根小学校の全校児童48人がアマゴ稚魚の放流を行いました。

今回放流した稚魚は新大井川漁協本川根支部が用意した約1,000匹で、漁協の担当者から稚魚が入った容器を手渡された児童たちは、元気よく動き回る稚魚がこぼれないよう注意深く運び、大井川に放流しました。

3年生の松葉來杜さんは「アマゴも広いところで泳げて楽しいと思う。大きく育ててほしい」と感想を述べました。

5/16

来年度へ向けての準備です

大型観光キャンペーンのツアーモデル視察会を実施



▲来年度はキャンペーン特別イベントなども計画しています

平成31年度に本番を迎える静岡県の大型観光キャンペーン(静岡デスティネーションキャンペーン)の一環として、観光PRブースの出展、観光商談会などを通じた、旅行会社へ向けての観光資源の紹介と現地視察が実施されました。

当町では、南アルプスあぶとライン乗車、レインボーブリッジ視察、茶茗館での試飲といった行程が生まれ、旅行代理店などから36名が参加しました。

参加者は「実際の旅行商品として組み込むことができるか」「滞在時間はどの程度が適切なのか」といったことを調査していきました。

地域活性化を兼ねた婚活ツアー盛況

5/26

久野脇で「くのわき縁結び婚活ツアー」が開催されました

このツアーは、同地区に点在する恋愛や子宝にまつわるお堂や観音様と川根茶や吊り橋といった地域資源を組み合わせ「縁結びの村」として情報発信しよう企画されたもので、「くのわき縁結び婚活部」が主宰しました。

当日は町外を中心に男性21名、女性19名が参加し、4組のカップルが成立しました。

参加者からは「自然を感じながら穏やかな時間を楽しめた」などの声が聞かれました。

この催しは今後も継続される予定で、次回は秋頃に開催されるとのことです。



▲キャンプ場でプログラムの説明を受ける参加者

平成30年度シーズンインへ

5/17

藤枝のサッカーチーム「ルクレ MYFC」が町へ表敬訪問に来町

5月20日(日)に開幕する東海女子サッカーリーグ2部にむけて、藤枝 MYFC の女子チームである「ルクレ MYFC」がホームタウン自治体である3市2町(藤枝市・牧之原市・島田市・吉田町・川根本町)へ決意表明を伝えるべく来町しました。

鎌田代表取締役、鈴木監督、畑中選手は「ルクレ MYFC は昨年度東海2部に昇格し、1年目で3位の成績をおさめるところができた。今年度は1部に昇格できるよう優勝を目指していきたい」と意気込みを語りました。



▲写真中央の畑中選手は青森出身でチーム4年目になります